

平成29年度第3回西仙北地域協議会会議録

平成29年8月23日

西仙北地域協議会

平成29年度第3回西仙北地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	1
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■協議	3
(1) 平成29年度地域枠予算の要望について	3
(2) 継続事業の検証について	4
(3) 自由討論	5
■その他	9
■閉会	9
■署名	9

■日 時：平成29年8月23日（水）15時00分から

■会 場：大仙市役所西仙北庁舎3階会議室

■出席委員：13名

池田裕毅委員	加藤真委員	金啓一委員	嵯峨幸恵委員	
佐々木孝太郎委員	佐々木好美委員	佐藤主憲委員	信田徹委員	
進藤巖委員	田口繁委員	俵谷武雄委員	豊巻一男委員	藤林笑委員

■欠席委員：4名

斎藤幸雄委員	堀江公子委員	武藤義治委員	吉田範子委員
--------	--------	--------	--------

■出席職員：6名

佐々木繁隆（西仙北支所長）	鈴木 吉信（市民サービス課長）
田村 一彦（農林建設課長）	小山田幸哉（西仙北中央公民館長）
新田 雅昭（地域活性化推進室副主幹）	佐藤 剛（地域活性化推進室主査）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 協 議
 - (1) 平成29年度地域枠予算の要望について
 - (2) 継続事業の検証について
 - (3) 自由討論
- 6 その他
- 7 閉 会

(15時00分 開会)

○小山田館長（以下「館長」と表記）

本日はお忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。ご案内しました時刻になりましたので、ただ今から平成29年度第3回西仙北地域協議会を開会いたします。は

じめに、西仙北地域協議会佐々木会長よりごあいさつ申し上げます。

○佐々木西仙北地域協議会会長（以下「会長」と表記）

本日の第3回西仙北地域協議会の開催にあたり、お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

皆さんご承知の通りちょうど1ヶ月前に西仙北地域が今まで経験したことがない豪雨災害に見舞われました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。しかしながら、人的災害がなかったということが不幸中の幸いであったと思います。これも偏に自治会をはじめ関係各位が「共助」「協働」これを行動に移したからだと思っております。また、復旧に向けてはボランティアを始め様々な関係者の尽力により、片付けやゴミ処理等が行われました。参加された方々には心より敬意を表したいと思っております。

さて本日の地域協議会ですが、地域予算の要望が1件、継続事業の検証が1件、また前回の協議会に引き続き自由討論という流れになっておりますのでどうぞよろしく願います。

○館長

ありがとうございました。続きまして佐々木支所長よりごあいさつをお願いします。

○佐々木支所長（以下「支所長」と表記）

本日はお忙しいところ、「第3回西仙北地域協議会」にご出席いただきまして、ありがとうございます。

会長の挨拶にもありましたが、先月の豪雨災害で被災されました皆様には、心からお見舞い申し上げます。

西仙北地域は、南外、協和地域とともに大きな被害がありました。特に家屋の浸水では、半壊に当たる床上浸水1m以上の家屋12棟、その他の床上浸水63棟、床下浸水131棟と大きな被害となりました。

道路についても、一時22路線が通行止めとなりましたが、現在2路線が通行止めとなっており、加賀戸橋崩落による通行止めではご不便をおかけしております。

また、農地・農用地施設災害は、災害箇所183カ所、面積390ヘクタールとなっています。このような被害となりましたが、幸いにも、けがや死亡といったニュースにはならず、ほっとしており、自助、共助を含め地域防災意識の高揚が図られているものとおもいますが、避難勧告や避難指示などの呼びかけに迅速に対応していただいておりますことに改めてお礼を申し上げます。

このほか、当地域では、8月6日の亀田街道雄清水まつりや、8月15日にふるさと西仙まつりが開催され、多くの住民が親睦を図るとともに花火と川面に映る灯籠を堪能していただけたものと思っております。

9月に入りますと、3日4日に敬老会が開催されます。そして、市議会選挙が17日告示、24日投票となりませんが、本県で初めて開催されますねりんピック秋田も9日から12日まで開催され、2種目が開催されます、是非ご覧いただきたいと思います。

最後に、本日の案件は地域枠予算要望審議と継承事業検証それぞれ1件ですが、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げまして、挨拶といたします。

本日はよろしくお願ひいたします。

○館長

ありがとうございました。このあとの進行については「大仙市地域自治区の設置等に関する条例」第8条第4項の規定により、会長が議長を務めることとなっておりますので、よろしくお願ひします。

○会長

それでは、会議を始めます。今日の出席委員は、17名中13名で、2分の1以上出席しておりますので、会議は成立していることをご報告いたします。

次第の4、会議録署名委員を指名します。会議録署名委員には、嵯峨幸恵委員、佐々木好美委員にお願ひします。

それでは次第の5、議題(1)平成29年度地域枠予算の要望について審議します。

今回の要望件数は継承事業の1件でございます。それでは、資料1強首地区交流事業について事務局の説明をお願ひします。

○事務局（地域活性化推進室）

【事務局が配付資料に基づき説明】

類型Ⅲ型

1. 強首地区交流事業

事業の目的：強首地区公民館を会場に芸能発表や作品展示など地域活性化事業を行うことにより、地域の交流を深め、連帯意識の高揚を図る。

申請団体：強首地区集落会長会

申請額：300,000円

【配布資料に基づき説明】

○会長

ただいまの説明に関し、何かご意見、ご質問等ございませんか。

無いようですので、「強首地区交流事業」は申請どおり承認することといたします。

○会長

次に、継続事業の検証に移ります。地域活性スポーツ活動事業について事務局より説明をお願いします。

【事務局配布資料に基づき説明】

○会長

ただいまの説明に関し、何かご意見、ご質問等ございませんか。

○佐藤主憲委員

ちょっと質問ですが、この事業は平成 27 年度より行われて今年で 3 年目ですが、来年度以降も継続して行う予定ですか。

○事務局新田

はい、この事業に限ったことでは無いですが、来年度やるかやらないのかということに関しては申請団体が決定するという事です。ただ、スポーツクラブが最初に申請を行った際には、3 年間を目処として実施してくださいという事は話させていただきました。先程の佐藤の説明にもありましたが、平成 27 年度はスポーツクラブの立ち上げがあり、その初期的費用で備品等の購入が多くなっております。ですので、来年度以降の申請につきましては事務局としては分かりませんが、申請するとすればこのような改善提案をさせていただきたいと思っております。

○佐藤主憲委員

分かりましたが、スポーツクラブは toto の助成金の他に、会員からの会費ももらっているわけですので、立ち上げから最初の 3 カ年は分かりませんが、それ以降は自主運営に向けて頑張ってもらいたいと思います。

○俵谷委員

改善提案の部分でチラシを配布等周知活動とありますが、これは新聞の折り込み等で既にやられておると思うんですがいかがですか。

○事務局新田

はい、その通りでございますが、新聞の折り込みに入っているチラシは toto の助成事業に関するチラシで、そのチラシに toto のロゴが入っていると思います。今回地域予算を活用した事業に関するチラシが無いということでこのような改善提案をさせていただいたところでございます。

○俵谷委員

地域枠予算を活用した事業のチラシということですね。分かりました。

○会長

他にありませんか。無いようですので継続事業の検証をこれで終わりたいと思います。

次に、議題の(3)自由討論ですが、前回各委員の皆さんからご意見をいただきまして、事務局でまとめた資料がお手元にあるかと思います。その資料について事務局から説明をお願いします。

【事務局配布資料に基づき説明】

○会長

ありがとうございました。前回の意見を集約したのがこの資料でございまして、本日はこの中からいくつかに絞り込み、具体的にどうしていくのかということ話し合っただければと思います。何かご意見ございませんか。

○佐々木好美委員

まず、前回の自由討論の結果をまとめてもらって、4つに分類したということでこれはまず第1段階だと考えております。この出てきた意見を取捨選択して、どう具現化していくかということが今日のポイントだと思います。やはりこの中からいくつか取り上げて、年度内に一つ具現化できればと思っております。4月の全体研修会で地域協議会で何かをやっていくとすれば、6回という限られた回数では非常に厳しいのではないかと話をさせてもらいましたが、市長さんが回数にはこだわらないという回答をいただきました。協議会としていかに地域に入り込んでいって活動するかということが大事ではないかと思っております。実際に地域で行われている行事に参加するなどして、色々な話を聞きながら課題や問題点を取り上げていくということが必要であると思っております。協議会で新しい事業をやるということではなくて、現在各地区で行われているイベントなどの活性化事業が行われていると思っておりますが、そのような事業に参加して、その中から課題を見つけていくということが大事であると思っております。協議会委員は各団体の長の方も大勢いらっしゃいますが、協議会全体として取り組んでいくという姿勢を全面に出したいと思っております。

○会長

今の佐々木好美委員は、協議会として何か新しいことをやるということではなくて、地域で行われている事業に関わっていくということでした。他にありませんか。

○俵谷委員

この資料を見ると地域枠予算の大半がイベントに使われているという意見がありました。私は地域枠予算を活用した事業は大概現場に行ってみせていただいております。実は

8月15日に支所駐車場で、「納涼まつり」が開催されておりました。非常に多くの方が集まって、高齢者の方も喜んでおりました。会場に来ている参加者の方に感想を聞いたところこれは是非来年も実施してもらいたいという意見がほとんどでした。やはり、地域の方々が参加するイベントは、非常に盛り上がり活性化に繋がるのではないかと思います。地域枠予算をイベントに使うのは良くないという風潮もありますが、このように活性化に繋がっているので、それはそれでよろしいのではないかと思います。

○会長

地域のイベントについては、参加者が楽しむことができ、地域の活性化に繋がっていて、協議会でも応援していきましょうというご意見でした。他にありませんか。

○俵谷武雄委員

先程佐々木委員も言われておりましたが、その事業に関わるということが非常に大事だと思います。例えば刈和野地区や土川地区で行われている事業には、その地区に住んでいらっしゃる委員の方が参加してみても、改善点等があれば主催者の方に直接話をするなど、そういった活動もしていくべきだと思います。

○会長

我々委員がこの場で協議するだけでなく、その事業に参加することが大事であるというご意見でございました。他にありませんか。

○佐々木好美委員

地域によって様々な課題がありますが、やはりイベント開催ということが地域を元気にする一番の方法だと考えます。そういう意味で我々がイベントに参加して関わっていくことが大事ではないかと思います。

○会長

イベントを中心とした活性化ということで、ひとつの方向性が見えてきたかと思いますが、その他に何かありませんか。

○佐藤主憲委員

地域枠予算のイベントへの活用は私も賛成の立場です。この地域枠予算があるから事業を実施できる訳でして、私たちの土川地区でも30万円をいただいて、それを4地区で分けて活用させていただいておりました大変ありがたいと思います。ただ、私が申し上げたいのは本来市が予算化して事業を実施すべきものにも地域枠予算が充てられているということです。そのような棲み分けをきちんとしてもらいたいと思います。

それから、地域枠予算の申請の簡素化や制度の説明など分からない自治会長さんもたくさんいらっしゃると思います。ですから、会長さんとか会計の方でも結構ですので、地域枠予

算のガイドラインですとか、制度について何か分かるものを送るなどして情報提供をしていただければありがたいと思います。

また、子どもたちとの合同のクリーンアップですが、4月に全市一斉のクリーンアップが行われていますので、それと合同に実施すればよろしいのではないかと思います。

○会長

色々ご意見をいただきましたが、来年度具体的にできるようなことも出されたと思います。

○佐々木好美委員

この年度中にできることをこの中から選んでやるべきだと思います。今様々な意見が出されましたが、ただ意見の羅列だけではなく、この中からできることとできないことを取捨選択して決めていけば良いかと思います。どういう手続きをとりどのようなプロセスで進めていくかということが非常に大事だと思います。色々な意見を出されても、この後どのような手続きを踏んで、どのようなプロセスでやっていくかというところが見えなければ、進んでいかないと考えます。例えば地域枠予算の申請の簡素化という部分ですが、これは手続きが複雑で申請できないのか、またガイドラインに合致しないので受理しなかったのか、その辺も事務局の方から説明をするべきだと思います。どうですか。

○事務局新田

申請に関しまして、特に新規の事業については事前にご相談を受けてから申請書を出してもらおうという形にしておりますが、ご相談の段階で地域枠予算のガイドラインに明らかに合致しない場合は協議会に挙げる前にお断りをさせていただいております。平成27年度から現在までそういうケースが3,4件程度ございました。

○俵谷委員

すいません、次の協議会はいつ頃開催予定ですか。

○事務局新田

10月中旬頃を予定しております。

○俵谷委員

今日も色々意見が出されましたけれど、今日で結論を出すのは無理だと思います。ですので、本日の結果を一旦持ち帰り次回の協議会をもっと早めて開催するというのはどうでしょうか。

○佐々木好美委員

私も俵谷委員の意見に賛成です。ただ、次回を早めてやってしまうことによって、年度内の地域協議会の回数が6回ではなく、7回、8回となっていくと思います。そうなった場合

予算の関係上不都合なことがありますか。

○支所長

そういうことはございません。今までの地域協議会は、地域枠予算の審議に特化しているということで、自由討論の時間を増やしていくというのは非常に画期的なことをごさいますて、委員の皆さんがもっとやりたいというのであれば7回、8回と協議会をやっていただいても結構だと思います。それは、委員研修の時も市長がおっしゃっておいりましたので、予算につきましても大丈夫だと思います。

○会長

という支所長さんのお話もありますので、回数を増やすのは大丈夫かと思ひます。では、次回の協議会は今まで出た意見を具現化していくために一旦それぞれの委員の方に持ち帰ってもらって、具体的な意見をいただきたいと思ひます。

○信田徹委員

この資料に載っている意見をもっと取捨選択して、はっきりできるものとできないものに分けて、できるものを中心に次回意見をもらうという形の方がよろしいのではないのでしょうか。

○事務局新田

事務局から提案ですが、大人数だとなかなか意見が出しづらいなどあると思ひます。ですので、例えばグループ分けをさせていただいて、イベントに興味のある方はそちらのグループに入らせていただいて意見をいただくという形にした方が話しやすいと思ひますがいかがでしょうか。

○佐々木好美委員

協議会全体で取り組みというケースと、グループ単位で取り組むというケースと2通り考えられます。実際協議会全体で取り組むというのは難しいと思われまますので、グループ単位で取り組むという方がやりやすいかもしれません。

○田口委員

次回の協議会まである程度協議する内容を絞らないとまた、時間がかかってしまうと思ひます。今日ここである程度2つや3つに絞って、それについて次回協議をしていけば良いかと思ひます。今回初めての試みということでそのようなやり方でもよろしいかと思ひます。

○豊巻委員

私もそう思ひます。事務局でまとめていただいた中からいくつか選んで、先程信田委員もおっしゃってまましたけど、その中からできるものとできないものに分類していけばよろしい

かと思えます。そして、その残ったものを次回検討していくということでどうでしょうか。

○会長

では、この中から分類して次回進めるという形でいかがですか。それではこの中から分類をしていきたいと思えます。

○佐々木好美委員

クリーンアップについては先程話がありましたので除くとして、HUBスペースの活動支援ということは取り上げて行くべきだと思います。また、イベントへの協力支援というのも可能かと思えます。その他については地域協議会ではちょっと難しいと思えます。

○会長

それでは、次回はHUBスペースの活動支援と、地域イベントへの協力支援ということを中心に話し合いを行いたいと思えます。

○館長

これをもちまして第3回西仙北地域協議会を終了します。長時間にわたりお疲れ様でした。

(17時00分 閉会)

西仙北地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

嵯峨 幸恵

佐々木好美